

## 理事長メッセージ



一般社団法人新津青年会議所 第62代目 理事長 長谷川 和広

### 基本理念（スローガン）

創造 ～未来を創る新たな一歩～

### 事業計画

- ・ 50%の会員拡大
- ・ 秋葉区の魅力や価値を創造する事業の実施
- ・ 地域社会や家族に感謝の心を養うことのできる青少年育成事業の実施
- ・ 会員の資質向上と規律励行の促進
- ・ 地域他団体との連携強化

### 【はじめに】

一般社団法人新津青年会議所は設立以来60年以上にわたり地域社会の発展を図り、地域の方々のご理解のもと多くの事業を実施してきました。私たちは修練、奉仕、友情を三つの信条とし、日々地域と寄り添いながら夢と希望を持ち、未来のために明るい豊かな社会を作る活動を生み出し続けると共に、新たなるものに挑み成長していく必要があります。

我々は将来、子供達が夢や希望を持てるよう今の時代をより良い形にしていかななくてはなりません。その為には現状を把握し、我々の活動をより多くの人々に広め、同志を募り、様々な意見を取り入れ、未来を見据えた活動を創造する団体として会員一人ひとりが覚悟を持って取り組んで参ります。

### 【失敗も成功も過去に心を縛られない】

創造し続けようと思う人間には、変化しかあり得ない。我々を取り巻く環境も様々な時代の遷り変わりの中で、常に変化を遂げています。しかしいつの時も互いに切磋琢磨し、互いの自己成長を願う姿勢は今も尚、我々の基盤となっています。

我々は過去の失敗や成功にも心を縛られることなく、自己と向き合い、多くの価値観を他人とぶつけ合い見識を

広めることで新しい想いを創造することが出来るではないでしょうか。様々な機会を通じ、会員一人ひとりが成長を実感し、次世代のリーダーとなり得る人財の育成に取り組まなければなりません。

## 【未来に輝く秋葉区の創造】

地域を取り巻く環境は大きく変化しつつあります。平成の大合併から10年以上の時が経過し我々が生活するこの町の他に誇れる素晴らしい魅力や、今後乗り越えて行くべき課題に青年世代として今一度向き合わなければなりません。

魅力的な地域へと変貌を遂げるには、地域社会の問題について市民や企業をはじめとした地域の構成員が、自らその問題の所在を認識し、自立かつ、その他の主体との協働を図りながら、地域の問題の解決や地域としての価値を創造していくための地域力を高めていく必要があります。

我々が生活する秋葉区は東西を阿賀野川、信濃川の二大河川に囲まれており、山間丘陵部を有した、四季を通じて美しい表情を見せる緑豊かな地域です。また花卉や鉄道、石油のまちとして大変多くの文化や歴史があります。この素晴らしい秋葉区を対外に最大限に発信していかなければなりません。

青年会議所は多くの活動を地域の方々とともに実施し、その運動が地域に根付き地域活性の一助となっているものもあります。しかし単年度制の組織であるがために、地域から期待されつつも継続した運動発信ができなかったものもあるのも事実です。

これまで多くの先輩諸兄のたゆみない努力と情熱のもと、築いてこられた活動を引き継ぐためにも、行政、関係諸団体の方々との交流を積極的に図り地域から信頼される組織の構築こそが、明るい豊かな社会の実現に繋がっていることを再確認していきます。

秋葉区の素晴らしい魅力はなにか、またその魅力をさらに輝かしいものにしていくにはどのような活動をしていけばよいのか、もう一度自己に問い過去の失敗にも成功にも心を縛られず広域的な視点で活動して参ります。

## 【明日を担う人材育成】

どんな環境にあろうとも、すべての子供達は未来の宝であり、かけがえのない存在です。だからこそ多くの子供達が笑顔になり、明日への希望をしっかりと見出せるような取り組みが必要です。子供達の自主性を尊重しながら、やる気や可能性を引き出し、将来的にはこの地域の発展に貢献できるような人材育成をおこなうことで、子供達の健全育成へと繋がる活動をおこないます。

現代の子供達の環境は携帯電話やインターネットが当たり前になり普及し、様々な手段を活用することでコミュニケーション能力は高まっていると言えるかもしれません。しかし直接、顔と顔を合わせる機会が減少しています。子供達が本当に必要な人と人との顔の見える関係づくりは十分に養われていないのではないのでしょうか。

また核家族世帯が増加し、家庭の中で家族間でのコミュニケーションを図る機会も減ってきていると思います。物質的に豊かな時代に生きていますが、子供達の心は豊かになったといえるのでしょうか。なんでも欲しいものがすぐに手に入ってしまう、努力して調べなくても簡単にインターネットなどで答えが分かってしまうということは、物のありがたさを感じ難い状況下に置かれており、何が正しく、何が間違っているのかを判断し辛くなりがちです。

青年会議所として事業を通じ秋葉区の魅力を感じ、認識してもらうことで目標に向かい仲間と協力し助け合い、時にぶつかり合うような刺激的な環境で徳の心を育んでもらえるような、学びの場を提供することで普段日常生活では感じ難い、物のありがたさや、家族や友人に対しての感謝を感じることでできる機会を創っていきます。この地域に暮らす子供達の目に我々は日々どのように映っているのでしょうか。安心し幸福と実感することのできるしっかりとした背中は見せられているのかどうか、人財の育成と同時に我々青年世代も常に覚悟を持ち新たな目標に向かい、挑戦しながら次世代に引き継ぐことが必要です。

## 【会員拡大と資質向上】

会員拡大は青年会議所活動の根本であり、志の高い同志が入会することは新たな視点や意見を得ることのできる機会になり、青年会議所活動の質が向上する一つの要因にもなります。またこの地域に与える効果も期待されま

す。そうなる為にも本年度は会員拡大の担当委員会を設け、委員会から会員一人ひとりを奮起させ強く、そして勢いのある新津青年会議所の発展へ繋げていきます。

会員拡大には常に迅速な行動、諦めない気持ち、思いやりの心が必要になると考えます。何よりも我々が誠実に活動し、会員数を増加させていかなければ意味がありません。青年会議所として一人ひとりが魅力の溢れる人財として活動していれば、自ずと人は集まってくれると信じて明日の秋葉区を我々が熱い情熱をもって牽引していきます。

青年会議所は青年の学び舎だと考えます。我々はまだまだ未熟な面があり、学ぶべきこと、経験や気づきの多い時期です。何事にも積極的に取り組み、地域から望まれていることを見つけ出し、挑戦するという向上心をもって行動することが大切です。会員の数だけ学んだことや経験は違います。だからこそ多くの会員達とお互いを尊重し、沢山の議論をおこない、そして真摯に向き合うことで強い絆が生まれ成長することができるのではないのでしょうか。

我々は決して結果だけを求めてはいません。青年会議所という組織の一員となったのであれば組織の目的にベクトルを合わせ、修練、奉仕、友情の三信条のもとで切磋琢磨しながら互いに自己の成長に繋げていきたいと考えます。

## 【結びに】

新津青年会議所はこれまで大変多くの先輩諸兄が数えきれないほどの功績を築いてこられました。しかし自分自身を振り返るといつも逃げ道をつくり言い訳をしていたように思います。入会したら誰しにも平等に機会があります。やるか、やらないかだけです。昨今の急激な時代の変化は、ともすれば会員の青年会議所に対する考え方や価値観をも多様化させ、それがおのずと組織の限界という壁をつくっているかもしれません。今一度、会員一人ひとりの資質の向上と組織としての規律を再認識し、青年会議所活動とは確かに答えはひとつではないかもしれないけれど、我々自身で地域の為にと考え、今までにない新たな視点や想いをもち事業を展開して参ります。私達は地域の方々や会社や家族の理解を得て青年会議所活動に尽力することができています。その機会の提供に感謝し努力を惜しむことなく秋葉区の新たな一歩を創造していきます。